

夢窓幼稚園通信第6号

2018年 4月 27日

世界地図を毎日眺めています。

「世界はひろいなあ」とか、「たくさん国があるんだなあ」とか
漠然と目にする時もあるけれど、事件や災害やよろこびの出来事を伝え
聞いたり、感銘を受けた人を知りたくてその国を確かめたくて、しかり
見ることもあります。出かけたことのある国の街並や大自然の風景を
想うのも格別です。

遠く離れた土地の印象や出来事が、京都にいる今の自分にみんな
つながっていて、未来への指針を与えてくれているのだ！という思いが
身体の奥の方から湧きあがります。

一枚の地図に「私」の意志が結びつくと、明るい見通しを与えてくれ
ゆたかな可能性を示してくれる世界地図が、私の心の中で立体的になる
のですわ。

設計図やカレンダーも、もしかしたら洋服の型紙なども心の地図になるかも
しれません。

新しい家の図面は、そこでいつか過ごす日々様子を思い描かせてくれるでしょう。
月の満ち欠けや星々の様子がカレンダーにあたら、何か大切な自分の予定が
三日月にも立ち合ってもらえると、たのしみにして待つことができます。型紙を前に
したら出来上がった服を着る我が子の晴れやかな表情を感じられるのでは
ないでしょうか。

デッキ横の「ラブリーな花壇」で、「アンネのバラ」が咲き出しました。
アンネ・フランクの父親ハットー・フランクさんが、平和を願って世界中に届けられた、
その子孫のバラです。

美しさの背後にある許されざる出来事や切実な思いを、あらためて意識する
ときも、歴史という時代をつなぐ「時の地図」が開かれます。

子どもの日を前に、憲法記念日を前に、未来の時を自分のこととして受けとめる
ために、少しでもゆたかな四次元地図を心に描いていきたいと思ひます。

入園・進級しての はじめの月が終わり、ふたつ目が始まるうとしています。
この2-3週間の中で体験したひとつひとつが、新しい時間を過すときの
心の地図となり、遊びをゆたかにし、友だちとのやりとりをふくらませ、
夢や期待を導いてくれることでしょう。

よろこび いっぱいの、それぞれの5月を過すことができますように！

園長 弁光 泰雄